

第7回 総合計画審議会（交流分科会） 議事要旨

日 時 平成22年7月15日（木）午前10時00分～11時30分

場 所 横須賀市消防局庁舎4階災害対策本部室

出席委員 細野助博委員（座長）、室町泰徳委員（副座長）、伊藤智委員、
小野間重雄委員、高瀬順治委員、土橋雅一委員、鳥居里美委員、
西原徹委員（以上8名）

事務局 横須賀市都市政策研究所 福本課長、小澤主査、檜山主任、山中主任

傍聴者 なし

議事内容

1. 報告事項
2. 審議事項
3. その他

< 開 会 >

1. 報告事項

（事務局）

- ・ 資料1、2（議事要旨）の確認（特に意見なし）

2. 審議事項

（細野座長）

- ・ 今日分科会として最後の会議になります。次回の8月の会議は全体的な調整を図りながらまとめる座長と副座長の会議となりますので、今日は分科会として素案をまとめていただきたいと思います。

（事務局）

—資料 第3次素案「冊子イメージ」を説明

—資料3 説明

—資料4 説明

（細野座長）

- ・ 事務局から第3次素案、市議会の意見、市民の意見についての説明がありました。第3次素案の変更点は、1. 「用語解説」をつけた、2. 第3章として「政策展開の基本方針」を1ページ加えた、3. 第4章の「重点プログラム」の記載が大きく変更された、4. 第5、6章については、冊子イメージとして、関連する条例、計画、主要な事業が追記されている、ということです。
- ・ この3次素案に基づいて、最終的な素案に収束していくことになります。3次素案に

についてのご意見と同時に、資料3の「横須賀市基本計画の策定に関する特別委員会の質疑一覧」、市民会議の意見等を中心に貴重なご意見をいただきたいと思ひます。

- 資料4では、市民会議についての内容の集計結果が1ページ目にあり、3次素案に出された意見が盛り込まれています。

(伊藤委員)

- 3次素案の冊子イメージですが、23ページの第3章、2「政策展開の基本方針」の中で、「人材」の「材」が「財産」の「財」になっています。この「人材」という表現がとても良いので、全ての「人材」を「人財」に換えてはどうでしょうか。

(細野座長)

- 検討の材料となるかもしれませんが、意志を伝えるためには、それも必要かもしれません。

(鳥居委員)

- 同じページの(1)「未来を支える人材の育成」の中の「子どもたちは、まちの宝であり未来を支える貴重な力です」について、「力」というよりは、「財産」という気持ちを込めてもらいたいと思ひました。

(小野間委員)

- 32、33ページの「図 まちづくり政策及びまちづくりの推進姿勢の体系」が、その後にくる第5、6章をまとめたものだとわがかりにくく、唐突に思ひます。

(細野座長)

- 体系図をこの位置に配置した意図があれば、説明してください。

(事務局)

- 第5、6章について全体を先に見ていただくために、一覧にして見開きで示していますが、ご指摘のとおり、位置づけが第4章の終わりでわがかりにくいところもあると思ひます。わがかりやすい形で表現を工夫したいと思ひます。

(土橋委員)

- 第5章が見づらいので、もう少しきれいにまとめることができないでしょうか。特に子どもに関する部分では、同じ文言が多く使われており、文言が同じでも思ひは違ふことを伝える表現があるのではないかと思ひます。
- 「ア」～「オ」という表記も適当かどうか疑問があります。

(事務局)

- 表現の問題なのか、レイアウト上の問題なのか、もう少し具体的にお話いただけますか。

(土橋委員)

- 例えば、68、69 ページの「(1) 子どもが心豊かで健やかに育つ環境の充実」の中に「①子どもを産み育てやすい環境づくり」と「②子どもが心豊かで健やかに育つ環境づくり」とありますが、「産み育てやすい環境」と「健やかに育つ環境」と文言が重なっている部分があります。どのように分かれているのか、もう少し明確にはならないでしょうか。

(細野座長)

- ①と②で分離する意味がわからないということですね。

(土橋委員)

- 「産んで育てる」と「育てる」ということで、分離してもいいと思うのですが、内容を読むとイメージが一緒なので、もう少しきれいに分けられるのではと思います。

(事務局)

- ①と②を分けた意図としては、①が主に子育ての育てる側の視点に立った支援、②は子ども自身が育っていくという視点から分けています。

(土橋委員)

- 子どもの自立性を考えたのが②ということですね。

(細野座長)

- 少し工夫した方がよいですね。「子どもを」と「子どもが」の「を」と「が」で違うので、そこのところを注目できるようにするということでしょうか。

(鳥居委員)

- 子どもを育てている立場からすると、このくらいのボリュームがあると、いろいろ考えてもらっているのだなと思います。他の章に比べて、レイアウト的にすっきりしないのは仕方ないと思います。子どもを産んでおしまいではなく、産んで育てる、そして次に教育となるので、しっかりとくくりをつけてもらいたいと思います。

(細野座長)

- ①、②、③と、子どもの成長プロセスによって変わっていくことが、どこかでガイドとして出るといいかもしれません。(1)の後に、「子どもを産み育てやすく、子どもが健やかに育つ環境づくりを推進します。」とありますが、産み、育てる、その後に教育もあるので、この部分にガイドラインとして示し、その後の①、②、③を具体的にガイドしてもらえると、今のご意見が活かされるかもしれません。

(西原委員)

- 項目ごとのボリュームがかなり違いますし、以下余白がたくさんありますが、これで

いいのでしょうか。

(細野座長)

- ・ 項目によって分量が違うのですが、その意図について説明してもらえますか。

(事務局)

- ・ ここでは冊子イメージとして、どのような項目を載せるかを示すために、項目だけを並べています。最終的な議決や総合計画審議会の答申等と比較した場合に、「主な事業」が載りますとか、「関連する計画や条例」が載ることを表せていただきました。実際には、これから冊子にする時に写真や絵が入ったりして、レイアウトをうまくしていきたいと思っていますが、余白等の無駄な部分に関するご指摘は十分に考慮したいと思います。

(細野座長)

- ・ もうひとつ、項目が多いということは、ここには重点的な施策があるというメッセージでもあるということです。そういうことを、初めのところに、市民のみなさんにわかりやすいように説明していただけるとよいかもかもしれません。

(小野間委員)

- ・ 37 ページの②のイに「アーバンリゾートを創出するため、西海岸沿いに観光ゾーンを位置づけます」とあり、21 ページに「アーバンリゾート」の解説が載っていますが、この「アーバンリゾート」には「観光」という要素が入っているのでしょうか。

(事務局)

- ・ 37 ページの施策の中での説明では、「交流拠点の創出」ということで、全体的に「観光」というトーンで流れていきますので、「観光ゾーンを位置づけます」という表現になっています。21 ページでは、具体的に「アーバンリゾート」をどこに定めるかを示すために、同じ観光という観点ですが、東海岸と西海岸の観光のイメージが若干違い、西海岸のアーバンリゾートは、何かを観たり、楽しんだりと言うよりは、もう少し長期的な休暇、休息を含んだ観光というように、意味づけを違えたいと思っています。要素としては、両方とも「観光」を含んでいます。

(土橋委員)

- ・ 先ほども話に出ました、32、33 ページの体系図ですが、やはり見づらいと思います。ページ数が出ていないので、頭から見ていかなないとつながりがないのだろうということがわかりますが、25 ページのような抽出イメージにしていただくと、流れがわかりやすいのではないかと思います。

(事務局)

- ・ 全体構造やそれぞれの章の役目を解説した方がよいのではないかという意見もあります。

して、4次素案を作っているときに、初めのところで全体構造の説明を入れようかと考えています。初めの部分で、全体の流れを見せるというのもひとつの手段かなと思います。ただ、逆に見づらいかなというのもありますので、先ほどの第5、6章の頭に体系図があるのがわかりづらいという意見も含めて、検討させてください。

(細野座長)

- ・ 最初につまずいて、もう読みたくないと思われても困りますので、一番後ろに持っていくというの、ひとつの手かもしれません。

(室町副座長)

- ・ 市民会議でも、ボリュームが多すぎて読む気にならないという意見がありました。ホームページ上にアップロードされたものの中から、自分の関心のある項目を検索して読む人が多いと思われるので、そのような体制を整えた方がよいと思います。

(細野座長)

- ・ コンピュータの普及率は90パーセント以上になっているのですか。

(事務局)

- ・ アンケートでは、インターネット経由で情報を得ている方が多いので、かなり普及していると思います。

(細野座長)

- ・ それぞれの関心項目で分冊にするというのも手かもしれません。

(事務局)

- ・ コストとの問題があります。全体で2,000冊を印刷しますが、希望された市民の方には、それではなく別にダイジェスト版を渡す予定です。
- ・ 現在の基本計画は分量が多すぎるため、ホームページ上に載っていません。次回からは載せようと思っているのですが、関心のあるところにすぐアクセスできるように、章ごとに分けて掲載するなど工夫ができないか考えています。

(土橋委員)

- ・ 配られるダイジェスト版をベースにホームページに載せて、自分の見たい項目をクリックすると、すぐ飛んでいくというのが一番見やすいのだと思います。

(伊藤委員)

- ・ 32、33ページの体系図ですが、それぞれの項目にページ数を入れてはどうでしょうか。
- ・ 35ページ以降に記載されている「主な事業」が、前回までは横長のエクセル表だったので、それぞれに該当する事業がとても分かりやすかったのですが、今回の形だと、主な事業がどれに対するものなのかが分かりにくいです。何か工夫できませんでしょうか。

うか。

(事務局)

- ・ 前は施策のイメージを明確にするために、事業名を横に並べました。しかし、基本計画自体は議決案件となっており、主な事業を含めて議決をしてしまいますと、掲載事業が固定したものになってしまいます。主な事業には、新しい事業を追加していく可能性があるのですが、基本的には議決の対象にしないことにしています。今の段階では、ひとつにまとめた形で載せていますが、上から順番になるように載せています。

(細野座長)

- ・ そういう工夫もあるということですね。

(伊藤委員)

- ・ 25 ページの重点プログラムのイメージ図に、以前は「7つの都市力」とあり、アイキヤッチの点からもわかりやすいと思っていました。今回、都市力の数に変更はないものの「7つの」という文言がなくなっています。その理由は何でしょうか。

(事務局)

- ・ 議会から「なぜ7つなのか」という意見がありました。「7つ」を強調し番号を付けると順番に意味があるように受け止められてしまうので、持続可能な発展のためにはこれらの都市力が必要だとして、並列で示すことにしました。
- ・ 総合計画審議会でも議論になったと思いますが、7つの都市力と5つのプログラムとの関連性を求められました。関係を説明しようと試みると大変複雑になります。見ていただきたいのは5つの重点プログラムなので、あえて「7つ」を強調しないことにしました。

(鳥居委員)

- ・ この冊子を2,000冊印刷するとのことでしたが、どのような方を対象と考えているのでしょうか。私は、若い方にたくさん読んでいただきたいと思うのですが。

(事務局)

- ・ まず、各自治体同士で計画のやり取りをしています。また、議会用と市役所の全部局への配付、さらに市政情報コーナーへの設置を想定しています。
- ・ 市民に直接お配りするというよりも、計画が策定されたことを広報し、最終的には市政情報コーナーで原価販売という形になります。
- ・ ダイジェスト版は無料でお配りします。

(細野座長)

- ・ 学生も無料で配ると読まないが、買わせると読みますね。

(西原委員)

- ・ 93 ページに「健康でやさしい心のふれあうまち」の「(5) コミュニティへの支援」について、まだ具体化していませんが、地域運営協議会が、町内会、関係諸団体を含めて行政センターの地域ごとにつくることが検討されています。その位置づけはどうなっているのでしょうか。

(事務局)

- ・ 「地方分権と広域連携の推進」において、地方分権推進の1つの柱として132 ページに「住民自治の推進」を挙げており、その中で地域運営協議会をお示ししています。
- ・ コミュニティは、地域運営協議会のためだけに育成するものではありませんので、「健康でやさしい心のふれあうまち」の中で人々とのふれあいとコミュニティを大切にすることを示し、地域運営協議会については、行政の推進姿勢の中で提示しました。

(西原委員)

- ・ 「健康でやさしい心のふれあうまち」の中でコミュニティを取り上げることに違和感があったので質問しましたが、わかりました。

(伊藤委員)

- ・ 横須賀市が直面する課題として、人口減少、少子高齢化、財政状況の悪化があちこちで出てきます。その解決として重点プログラム、まちづくり政策、推進姿勢を示しているのですが、それらの具体的な目標をどこかで示すことは可能でしょうか。
- ・ 例えば、人口減少については、2021年頃に39万人程度になるとの記載があったと思いますが、県全体の減少率を上回るなどが考えられます。財政状況については、経常収支比率をベンチマークにし、90%以下をキープするなどがあると思います。達成できるかどうかは別としても、一般企業では最終年度までの達成目標を掲げることが通常です。

(事務局)

- ・ 計画の進行管理と評価をどうするのかというご質問だと思います。
- ・ 目標指標や行政評価は示すつもりですが、目標指標については、この下の階層の実施計画において、計画の区切り(3年・4年・4年)ごとの目標と、基本計画(11年間)での目標とを示す予定です。実施計画では財政推計を基にした事業ごとの目標まで示し、毎年進行管理をします。政策全体がうまくいっているか否かは、実施計画の改定ごとに市民アンケートを取ったり、ベンチマークの手法を用いたりして評価します。
- ・ 基本計画に目標指標を記載することも考えられますが、それでは予算の裏付けがきちんとしていませんので、実施計画で示すつもりです。

(細野座長)

- ・ 第2章に「計画の条件」とあるのを、将来そのような状況になることを前提として計画を策定したことが明確になるよう、「計画を支える前提条件」などと表現してわか

りやすくした方がよいかもしれませんね。

- 具体的な目標指標については、実施計画に記載していることをガイドとして示せばわかりやすいと思います。

(小野間委員)

- 3ページの「厳しい財政状況」について、横須賀市の経常収支比率が全市町村と比較して高いとの記載がありますが、その理由が示されていません。2005年に急速に悪化したとありますが、その理由も含め、明確にできませんか。
- 「本市が抱える財政的な課題を行政と市民が共有していくことも求められています」とありますが、何が課題なのか示さないと共有できないと思います。

(事務局)

- 経常収支比率が2004年から2005年にかけて急速に悪化したことについては、細野座長からもご指摘をいただきました。悪化の理由は表の注釈に記載したいと思います。
- 財政状況が厳しい理由については、少子高齢化に伴い社会保障経費が増大していることを本文にも記載しました。また、働く年代の減少があり税収そのものが減少していくこともあります。財政については細かい分析を記載するとわかりにくいことから、大まかな表現にとどめさせていただきたいと思います。

(土橋委員)

- 「重点プログラム」の中で、「プログラム4」の「にぎわいを生むプログラム」だけが、なぜ「重点プログラム」に選定したのか背景がわかりにくいと思います。「取り組みの方向性」に記載された内容に対応した記載が、冊子全体にほんの2～3行で分散されていて、重点度が低く感じます。

(細野座長)

- 「プログラム4」の内容が32、33ページに1対1で対応せず、バラバラになっていてわかりにくいというご意見だと思います。事務局で工夫できますか。

(事務局)

- 32、33ページだけでなく、第1章、第2章の課題においてもあまり触れていないまま、唐突に「重点プログラム4」として示されているというご指摘だと理解しました。
- 11ページで政策の優先度についての市民アンケートの結果を図示しているのですが、「地域経済の振興」が1位になっています。アンケートを取ると必ず地域経済の活性化が1位になるため、「重点プログラム」の1つに位置づけました。
- 市民からの要望が強い雇用の問題などは国の政策でもあり、市の政策として実施することは難しいのですが、雇用を生み出す基盤として、「重点プログラム4」で「地域経済の活性化」と「企業誘致」を提示しました。
- 第5章の「まちづくり政策」においても、54、55ページに「2 海と緑を生かした活気あふれるまち」の「(3) 産業の成長支援と企業誘致」として盛り込んでいます。

(土橋委員)

- ・ 説明を受けるとわかりますが、冊子を見ただけでは読みとりにくいと感じます。

(事務局)

- ・ 「重点プログラム」の「実施計画における具体的取組み」の部分に具体的な事業が記載されれば、もう少しご理解いただけるのではないかと考えています。

(細野座長)

- ・ 本質的で重要なご指摘だと思います。「重点プログラム」と32、33ページの「まちづくり政策及びまちづくりの体系」との対応関係を明示するような誘導があってもよいのではないのでしょうか。そうすれば、市の取り組む姿勢も示せると思います。工夫をお願いします。

(事務局)

- ・ 市もお金がないと何もできませんし、「にぎわい」の部分は非常に大事だと考えています。
- ・ 第1章、第2章に横串を刺すような表現として重点プログラムの4を提示しているつもりでしたが、もう少し考える必要があると思います。

(細野座長)

- ・ 見せ方の工夫をお願いします。にぎわいの部分は非常に重要で、人・もの・金が集中する工夫が必要で、それを強いメッセージとして打ち出すことがとても大切だと思います。
- ・ これまでの、今日も含めて7回の審議で意見も十分出し、それを反映してもらったことと思いますので、予定時間より少し早いですが、審議を終了したいと思います。ありがとうございました。

3. その他

(細野座長)

- ・ 事務局より今後の予定について説明をお願いします。

(事務局)

- ・ 座長からもお話がございましたが、本日が最後の分科会になります。
- ・ 本日もいただいたご意見を含めて次回の座長・副座長会で全体的な調整を行っていただき、全体会で答申という運びになります。
- ・ 次回の座長・副座長会には、委員長・副委員長、及び各分科会の座長・副座長にご出席いただきます。8月6日(金)の午前10時から災害対策本部室にて開催の予定です。傍聴も可能ですので、よろしければお越しください。
- ・ 第9回の全体会は9月6日(月)の午前10時から災害対策本部室にて開催の予定で、後日ご案内をお送りする予定でありますので、よろしく申し上げます。

- 本日の記録については、後日議事要旨案をお送りさせていただきますので、ご確認をお願いします。事務局からは以上です。

(細野座長)

- それでは最後に、お1人ずつ感想を伺いたいと思います。

(小野間委員)

- 市民会議の案内を1,000人に送付したとのことでしたが、参加者は何人ですか。

(事務局)

- 80名の方から参加のご意思をいただきましたが、当日は体調等の問題もあり、65名にご出席いただきました。
- 参加者アンケートの結果、90%以上が市の会議に初めて出席された方だとわかりました。今回初めての試みで、希望者ではなく市から無作為にご案内を差し上げた中からご参加いただく形を取りましたが、サイレントマジョリティの掘り起こしという点では効果的な手法であったと思います。

(小野間委員)

- 座長・副座長におかれましては本当にありがとうございました。
- 参加したことで、みなさんがいろいろなことを考えておられることがわかり、自分が勉強不足であるとも感じました。このような機会があれば、また参加させていただき、自分の能力を高めたいと思います。

(高瀬委員)

- 私は途中から何もわからない状況で参加させていただいたのですが、みなさんが勉強され発言されていることに驚きました。
- 私もまた機会があれば参加したいと思います。
- 会社は4月に異動などがあり委員交代となりましたが、それについてもよいのかどうか、会社に戻り投げかけてみようと思います。ありがとうございました。

(土橋委員)

- 私はものづくりに携わる人間です。今回みなさんにも生みの苦しみが多々あったと思いますので、先程インターネットというお話もありましたが、できるだけ多くの人々の目に触れられるとよいと思います。ありがとうございました。

(鳥居委員)

- 子育てをしている中で、資料を読むことがリフレッシュにもなりました。
- 勉強不足の面が大きく稚拙な質問ばかりで申し訳ありませんでした。ただ、意見をたくさん出すことで子どもたちがより住みやすい市になってくれればと思います。
- 住んでまだ7年ですが、いろいろなことが見えて来て、市が好きになりました。あり

がとうございました。

(西原委員)

- ・ かなり長い期間、町内会を中心に市政に協力させていただく中で幅広くわかっているつもりでしたが、総合計画審議会に参加させていただいたことで、視野を広げることができ勉強になりました。
- ・ 事務局の方については、たくさんの課題をよく勉強され、まとめられたと敬服しています。ありがとうございました。

(伊藤委員)

- ・ きちんと計画に基づいて様々な事業を行っていることがわかり、行政に対する見方が変わりました。一企業に取り入れられる部分もあると思いました。
- ・ 横須賀の現状もよくわかり、これも今後の仕事に役立つのではと思います。
- ・ 発言については偏った点もあったかと思いますが、お許しいただければと思います。ありがとうございました。

(室町副座長)

- ・ 都市計画、交通計画の関係で首都圏をあちこち調査する中で、横須賀市には存在感がある市というイメージを持っていました。今回いろいろと勉強させていただき、そのバックグラウンドが理解できた気がします。勉強になりました。
- ・ このような機会をいただき、ありがとうございました。

(細野座長)

- ・ 今、各行政は計画を押しつけるのではなく、よいまちをつくるために、ニーズを聞きながら触媒としてどう機能すべきか模索している段階です。
- ・ 民主主義の根幹は地方自治から始まると思います。みなさんの多大なるご貢献が、横須賀市の未来をつくると思いますので、これからもご協力をお願いしたいと思います。
- ・ 大変勉強になりました。このような機会をいただき、ありがとうございました。

(以上)